たましょうこ
玉小っ子
http://www. town. tamamura. ed. jp/tamamura-e/

令和5年度 玉村小学校
学校だより　第 25 号
2024年3月22日

卒業おめでとうございます

本日、６６名の６年生が玉村小学校を卒業していきました。今年度の卒業式は、ＰＴＡ本部役員様を来賓として、保護者様、在校生代表として４，５年生に参加してもらい卒業生を祝福し、送り出せるようにしました。コロナ禍の制限も和らいだので、以前に戻すことも多くなりましたが、来賓については以前のよう大勢を呼ぶことはしないで、６年生と関わりのあった人もだけで温かい雰囲気の中で行うことにしました。そのため、祝辞等も時間も短縮され、主役である６年生の一人一人の卒業証書授与に時間をかけることができました。

呼名への返事や一人一人の言葉、キビキビとした動作、６年間の最後となる学年での呼びかけや歌など、卒業式でも、さすが６年生という姿を見せてくれました。参加した４，５年生も卒業生に言葉や歌を贈り、卒業生からバトンを引き継ぎ、来年度玉小のリーダーとなる５年生は、最高学年としてがんばっていこうとする気持ちも高まったと思います。

６年生の保護者の皆様には、これまで、多くのご支援やご協力ありがとうございました。子どもたちの門出をお祝いするととも、中学校でのさらなる活躍を祈っています。

卒業式　式辞より

今年度、玉村小学校は創立百五十周年を迎えました。その節目の年に皆さんは十分な活躍を見せてくれました。

「受け継ぐ絆　百五十年の　最高地点へ」五、六年生で創り上げた「絆～仲間とともに～」一人一人が自分の役割を果たし、気持ちを一つにして行った素晴らしい演技でした。鎌倉横浜への修学旅行。自分達で調べ、計画し、協力し合って大成功を収めました。たてわり活動や委員会活動では、すべての子がリーダーシップを発揮し、考え、行動してくれました。コロナ禍の制限が和らぎ、全校で歌を歌うこともできるようになりました。音楽集会、玉小音楽祭など、いろいろな場面で、六年生が中心となって素晴らしいハーモニーを聞かせてくれました。玉小での経験、そして、共に乗り越えてきた仲間は大きな財産となるでしょう。皆さんの何事にも本気で取り組む姿勢は、玉村小学校のよき伝統として後輩たちに受け継がれ、百五十一年目の新たな玉小の歴史が創られると思っています。

それでは、卒業生の皆さんに、はなむけの言葉を贈ります。

それは、「夢をもつ　夢を叶える」ということです。

十二月　玉小にも大谷翔平選手からグローブのプレゼントが届きました。そこには「このグローブが子どもたちに夢を与え、勇気づけるためのシンボルになってほしい」という手紙が添えられていました。簡単に言うと、「夢をもって、それを叶えるためにがんばれ！」というメッセージです。メージャーリーグで大活躍するという夢を叶えた大谷選手の言葉は説得力があります。大谷選手が高校生の時に書いた「目標達成シート」には、どのチームからも必要とされる野球選手になるという夢を叶えるため、今何をするべきかが書かれています。大谷選手のすばらしいところは、夢を夢で終わらせず、実現に向けて考え、行動することで一歩一歩前進してきたことです。大谷選手は、新しい夢に向かって今も前進し続けていると思います。

さて、皆さんは中学生という新しいステージに進みます。まだ、自分の夢がはっきりしないという人もいるでしょう。夢が変わってしまう人もいるかもしれません。でも焦らないでください。自分をしっかりと見つめ、自分の夢をもち、それを叶えるために、今できることを考え、実行し、一歩一歩歩んでいってほしいと思います。

在校生から心をこめて　～お別れ式～

卒業式に参加しない１～３年生はその前日の２１日が６年生に会える最後の日となります。そのため２１日の朝に時間にお別れ式を行いました。在校生の最高学年の３年生が司会をしました。在校生から６年生に、長縄を教えてもらったこと、たてわり集会のこと、委員会のこと、クラブ活動のことなど、感謝の言葉が贈られました。

６年生からはお礼の言葉と歌、そして各学年にバトンが送られました。

＜玉小っ子の活躍＞

玉村町あいさつ声かけ運動啓発ポスター

優秀賞　　４年　春山　汰生

玉小のホームページには、学校紹介のほか、予定表や学校通信、毎日の学校の様子をアップしている「学校日記」があります。タイムリーに掲載していきますので、是非ご覧下さい。

http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/